

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	葬祭費支給事業	事業コード	1351
------------	---------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	地域で暮らせるまちづくり

PLAN(計画)	部署名	国保年金課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	被保険者が死亡したとき、葬祭を行った人に対して葬祭費の支給をする。				
	概要	葬祭費5万円を支給				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	死亡手続き時に申請書を受け取り口座振替にて支給。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	国民健康保険証更新時にチラシを同封したり、ホームページ掲載したりすることで制度を周知する。	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	葬祭費支給申請に対する支給した割合	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	100	100	100		
	計算根拠	葬祭費支給件数/葬祭件数	達成率(%)	100	100	100		
実数値			81/81	85/85	100/100			
		ランク	A	A	A			

会計	国民健康保険事業特別会計	事業要員	正規職員	0.2
事業タイプ	単独事業	事業要員	臨時・嘱託	
経費区分	補助費等	事業要員	※所要時間	50

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	5,500	6,000	6,000	6,000	5,000	
	決算額	5,000	4,050	4,250	5,000		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	葬祭を行うには相当な費用を要することから住民のニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	補助金の交付申請等が必要であり、かつ高度な個人情報を取り扱う事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	他市や後期高齢者医療制度も同額の葬祭費を支給していることから削減は困難。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	この事業の財源は国民健康保険税で賄っている。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	申請者に全員口座振替で支給していることから成果向上の余地は無い。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 被保険者が死亡したとき、葬祭を行った者に葬祭費を支給する。	平成31年度計画 被保険者が死亡したとき、葬祭を行った者に葬祭費を支給する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	人間ドック検査料補助事業 (国民健康保険会計)	事業コード 1364
------------	-------------------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標 若くて元気のまちな創造	基本施策 生涯現役で生涯青春のまち	実施施策 健康づくりと介護予防の推進	332

PLAN(計画)	部署名	国保年金課	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	人間ドックの受診により病気の早期発見、早期治療につなげ、被保険者の健康維持とともに医療費の抑制を図る。				
	概要	人間ドックを受診した30歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対して、検査費用の一部を補助する。また、検査の結果要観察以上の人には医療機関への受診を促す。				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	その他			
	内容	人間ドック事業自体は委託している。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	人間ドック受診対象者への通知回数	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	人間ドック受診者定員に対する受診者の割合	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	96.2	96.8	98.0		
	計算 根拠	(人間ドック受診者数+脳MR I受診者数) / 人間ドック受診者定員 H24までは人間ドック受診者に占める60歳未満の男性の割合を指標としていたが、H25に対象年齢を拡大したことから定員に対する受診者の割合に変更、H28に脳MR		達成率 (%)	96.2	96.8	98.0	
			実数値	481/500	484/500	490/500		
			ランク	A	A	A		

会計	国民健康保険事業特別会計	事業 要員	正規職員	0.2
事業タイプ	交付金事業		臨時・嘱託	
経費区分	補助費等		※所要時間	140

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称 県2号調整交付金
	予算額	15,097	14,784	15,431	15,938	15,965	
	決算額	14,815	14,569	14,310	14,460		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	毎年キャンセル待ちが出ている状態になっている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	受診料金助成事業のため、保険者（市）が実施すべき。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	受診料は診療報酬積み上げで決められており、コスト削減の余地はない。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>			根拠	受益者負担の引き上げを求める方法が考えられるが、現在約4割を負担しており、他市の状況を比較検討すると現時点では困難。	
	有効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	地道に早期発見、早期治療の必要性をPRする以外に向上の余地は無い。	

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 定員と年齢枠（30歳～74歳）を維持して実施する。	平成31年度計画 定員と年齢枠（30歳～74歳）を維持して実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施